

| 科目区分         | 統合分野   | 科目名      | 在宅看護援助論Ⅱ(医療的管理) | 対象学生 | 第2学年 |
|--------------|--|----------|-----------------|------|------|
|              |  | 単位数(時間数) | 1単位(30H)        | 学期   | 第2学期 |
| 担当講師         | 細谷 ゆかり(臨床経験24年、教育経験13年)  |          |                 |      |      |
| 科目目標         | 在宅で医療的管理を必要とする療養者に対する基本的な援助技術を理解する。  |          |                 |      |      |
| 授業概要         | <p>1. 療養上のリスクマネジメント (講義・演習)</p> <p>1) 在宅看護におけるリスクとは<br/> (1)在宅看護におけるリスクの特徴 (2)リスクマネジメントの考え方 (3)事故の背景要因<br/> 2)環境の整備による安全の確保 3)身体損傷の防止 4)薬物による事故の防止 5)感染の防止<br/> 6)災害に対する準備と対応</p> <p>2. 在宅における医療管理を要する人の看護 (講義・演習)</p> <p>1) 褥瘡の予防とケア<br/> 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防 処置 除圧・体位変換に関する器具の種類と選択</p> <p>2) 尿道留置カテーテル<br/> 尿道留置カテーテルの適応条件 カテーテルの種類と特徴 合併症とその対処方法 生活の工夫</p> <p>3) ストーマ(人工肛門・人工膀胱)<br/> ストーマの適応 ストーマからの排泄方法 主な(晩期)合併症とその対応 生活の工夫</p> <p>4) 経腸栄養法<br/> 経管栄養法の種類と適応 経鼻経管栄養法・胃瘻共通の合併症 生活の工夫</p> <p>5) 在宅中心静脈栄養法(HPN)<br/> 在宅中心静脈栄養法の適応条件 在宅中心静脈栄養法を用いる療養者への在宅看護</p> <p>6) 非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)<br/> 非侵襲的陽圧換気療法の適応条件 非侵襲的陽圧換気療法を用いる療養者への在宅看護</p> <p>7) 在宅酸素療法(HOT)<br/> 健康保険によるHOTの適応条件 HOTを用いる療養者の在宅看護</p> <p>8) 在宅人工呼吸療法(HMV)と排痰法<br/> 在宅人工呼吸療法の適応条件 在宅人工呼吸療法を行う療養者への在宅看護<br/> 排痰に関する在宅看護技術</p> <p>9) 外来がん治療の支援</p> <p>10) 疼痛緩和</p> <p>3. 科目終了試験</p> |          |                 |      |      |
| 看護師国家試験出題基準  | 褥瘡発生のリスクアセスメントと予防 褥瘡のアセスメントと処置 除圧・体位変換に関する器具の種類と選択<br>膀胱留置カテーテル対象の特徴 合併症の予防 在宅における安全管理と援助 ストーマケア<br>胃瘻、経管・結腸栄養法の対象の特徴 栄養剤の種類と特徴 栄養評価 合併症の予防<br>在宅における安全管理と援助 中心静脈栄養法の対象の特徴<br>人工呼吸療法(非侵襲的換気療法)の対象の特徴 人工呼吸器の原理・構造<br>気道浄化のケア 酸素療法の対象の特徴 機器の種類と原理 外来通院中の在宅療養者に対する援助<br>服薬状況の把握と管理 医師及び薬剤師との連携 化学療法、放射線療法で外来通院中の在宅療養者に対する援助   |          |                 |      |      |
| 授業の進め方       | 講義・演習を組み合わせで行う。<br>在宅療養者とその家族の状況がイメージできるよう視聴覚教材を用いて学習を行う。  |          |                 |      |      |
| 履修のポイント・留意事項 | 在宅看護概論、人間と社会、共通基本技術、日常生活援助技術の学習内容(知識・技術)を復習して授業に臨む。また、在宅療養者への援助においては、疾病・治療論の学習内容を復習して授業に臨む。在宅療養者を生活者の視点でとらえ、療養者と家族のQOLを考慮した援助ができるよう学習を深めていく。   |          |                 |      |      |
| テキスト         | 系統別看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院   |          |                 |      |      |
| 評価方法・配点      | 終了試験・課題レポート・授業参加状況を総合的に評価する。   |          |                 |      |      |